

長野県最南部 深山の落ち着いた雰囲気味わえる山
熊 伏 山

実施日 2019年4月20日(土)

天 候 晴れ

リーダー 峯川 弘子

参加者 涌井良明、宇野輝代、石附智子、
峯川弘子 計4名

費 用 JR新幹線 10,236円(東京駅起算) レンタカー負担 2,100円

タイム 掛川駅(8:39)青崩峠登山口(11:10)青崩峠(11:30)青崩の頭(12:25)観音山分岐(13:10)熊伏山1,654m(13:30-14:10)青崩の頭(14:50)青崩峠(15:20)青崩峠登山口(15:40)掛川駅(17:05)

晴天続きの青空、掛川駅からいざ奥遠州へ、幻の国道152号線を長野県県境へ向かう。

メンバー全員、静岡西部側から長野へ向かうのは初めて。

道は途中から天竜川沿を走り、掛川から約2時間「塩の道駐車場」へ到着。



ここから歩行開始、信玄の腰掛岩を通過し整備された登山道を20分ほど歩くと登山口の青崩峠

についた。

遠州と信州の古道分岐の標識、この塩の道は北アルプスまで続く。青崩の名の通り砂礫の山の崩落が見渡される。



さあここから熊伏山へ、本ではファミリー向けの山、山頂までは約2時間30分、しばらく山に登ってないCLはリハビリだぜ～と思ったも

ののちょっと待ったなにこれ、上を見るときすごい急登、滑りやすい砂礫の急斜面が続く、木を支えに重い身体を持ち上げ所々ロープをつかんで細尾根の繰り返し、全然ファミリー向けじゃな～い(笑)



木々の間から見える雪の荒川三山や聖岳に癒されながら皆で息を切らし青崩の頭、そしてようやく観音岳分岐へ到着。

「前熊伏山」の看板に歓声を上げ山頂まであと20分、でもこの深山は楽には行かせてくれないらしい。そこから3つのピークを登り返しやっと山頂へ着いた。



途中単独の男性3人ほどとすれ違っただけで山頂は貸し切り、本当に静かな山だ。



360度の眺望ではないが南アルプスがでかい！青空で絵のような風景を楽しみながらランチタイム。

写真を撮ってふと見ると反対側に「長野県 天龍村まで3時間」という標識があった。

遠州と信州の県境を実感！！古の軌跡を感じられるいい山でした。

(記・峯川 弘子)

(写真提供・涌井 良明)

